

■「令和の里海づくり」モデル事業における取組

活動地域：加太・友ヶ島（和歌山県和歌山市）

活動団体：一般社団法人 加太・友ヶ島環境戦略研究会（KATIES）

モデル事業概要	
採択年度	2022（令和 4）年度
モデル事業	自然・歴史・文化豊かな加太・友ヶ島の魅力を体感し、海ごみなどの地域課題解決に参加できるエコツアーづくり。 加太の地域主体や、和歌山・大阪等の大学生を巻き込んだエコツアーの担い手づくりも行う。
背景	
地域の資源	【自然】 ◇ 瀬戸内海国立公園（東端） ◇ 紀淡海峡に面した美しい海岸線と雄大な自然景観 【海産物・食】 ◇ 持続可能な伝統漁法によるマダイをはじめとした豊富な海の幸 【歴史・文化・町並み】 ◇ 風情のある歴史と文化が色濃く残る漁師町（日本遺産に認定された葛城修験に関する行場・史跡群、全国淡嶋社総本社の淡嶋神社、など） ◇ 明治初期に整備された砲台跡などの大規模戦争遺構 【アクティビティ】 ◇ 大都市から身近な観光地（ハイキング、釣り、海水浴、温泉） ◇ 南海電鉄による観光電車「めでたい電車」の運行
地域の課題	【加太】 ◇ 地元では過疎化、漁師の減少、観光客の減少（交通の便がよくなり日帰り化も）などに伴う地域力の低下が課題となっている。 ◇ 加太地域の山から関西国際空港の建設用土砂を大量に供給したため、漁業にとっても森から海へいたる循環を取り戻す必要がある。 【友ヶ島】 ◇ 大阪湾の入り口に位置する地理的環境や海流によって、大阪湾周辺の都市部から流入した海洋ごみが友ヶ島に漂着し、環境価値の棄損が地域課題となっている。 ◇ この海域で漁業を行う加太の海産物のブランドの観点からも海洋ごみ問題は課題である。 ◇ 友ヶ島に漂着する海ごみは加太・友ヶ島地域の課題というだけに留まらず、大阪湾周辺の流域全体の問題である。

令和の里海づくり（保全と活用の好循環形成）

好循環形成のビジョン

（保全）

- ✧ KATIES は、2020 年より友ヶ島で海洋ごみの定点モニタリングと参加型調査や、海洋ごみ問題をアート之力を活用して啓発するイベント「MIGO（ミーゴ）」などを実施している。
- ✧ 地元では、持続可能な伝統漁法による漁業活動や、淡嶋神社、葛城修験をはじめとする歴史・文化の継承、森から海への循環を取り戻すための森林保全活動などが行われている。

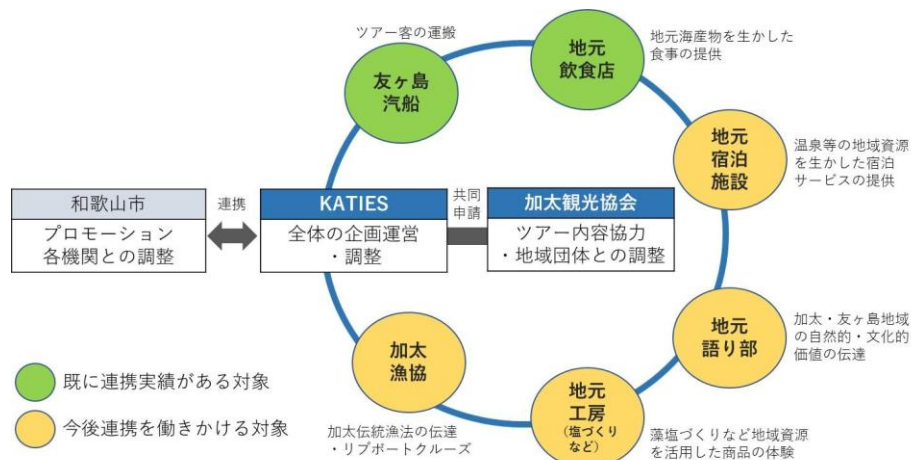
（活用）

- ✧ 自然・歴史・文化豊かな加太・友ヶ島の魅力を体感し、海ごみなどの地域課題を考えることができるエコツアーを検討、造成する。
- ✧ 大阪湾周辺の都市部の人々にエコツアーに参加してもらい、現地で加太・友ヶ島地域の豊富な地域資源の魅力と、抱えている地域課題を発信する。

（好循環形成・促進）

- ✧ 加太の地域主体や、和歌山・大阪等の大学生を巻き込んだエコツアーの担い手づくりも併せて行い、エコツアーを経済的にも社会的にも継続可能なものにしていく。
- ✧ エコツアーに参加した都市部の人々に海ごみ問題に気づき、行動を起こしてもらうことで、社会全体での課題解決に向けた行動転換を促す。
- ✧ 加太・友ヶ島に関心や関わりを持つ都市部の人々（交流人口・関係人口）や、保全活動に参加・応援する人々を上げるとともに、社会全体での行動転換によって、加太・友ヶ島地域の海ごみ問題の解決に貢献する。

<連携イメージ>



作成：KATIES